

令和4年度 第20回教育研究審議会議事概要

日時 令和5年2月7日(水) 午後4時～午後5時15分

場所 本部棟3階 大会議室

出席者 藤田英典学長、加藤敦子副学長(兼)語学教育センター長、田中昌弥副学長(兼)キャリア支援センター長、田中正樹事務局長、小林重雄理事、春日由香学長補佐、佐藤明浩学長補佐(兼)図書館長、加藤めぐみ学長補佐(兼)保健センター長、竹島達也研究科委員長、日向良和情報センター長(兼)共通教育センター長、新井仁入学センター長、廣田健教職支援センター長、北垣憲仁地域交流研究センター長、茂木秀昭国際交流センター長、野中潤国文学科長、三浦幸子英文学科長、佐藤裕比較文化学科長、原和久国際教育学科長、鳥原正敏学校教育学科長、高橋洋地域社会学科長、横瀬晴紀総務課長、小澤初美経営企画課長、久保田昌宏学生課長

1 開 会 藤田学長より挨拶

2 議 事

(1) 2023(令和5)年度採用・昇任計画(案)について

○委員から資料1に基づき説明。→提案どおり承認。

(2) 令和4年度教員選考委員会構成(昇任)について

○昇任人事について教員選考委員会を組織する。

(3) 名誉教授候補者の推薦(国文学科)

○委員から資料3に基づき説明。→提案どおり承認。

(4) 非常勤講師の担当科目コマの発議・提案(国文学科 2件)

○委員から資料4-1、4-2に基づき説明。

→指摘事項を修正した上で提案どおり承認。

(5) 非常勤講師の担当科目コマの発議・提案(学校教育学科 3件)

○委員から資料5-1～5-3に基づき説明。

→指摘事項を修正した上で提案どおり承認。

(6) 非常勤講師の担当科目コマの発議・提案(地域社会学科 3件)

○委員から資料6-1～6-3に基づき説明。→提案どおり承認。

(7) 令和5年度公立大学法人都留文科大学年度計画(案)について

○委員から資料7に基づき説明。

→修正等あれば事務局まで連絡。承認は次回。

(8) 新棟(6号館)のポリシーおよび名称について

○委員Aから資料8-1～8-4に基づき説明。

(委員B)

名称について、複合型居住プロジェクト内における大学連携施設の名称がカナに対し、新棟が英語表記なのが気になる。また、新棟の名称について Tsuru Humanities Center を略して THMC とするのも M を入れるのも気になる。4つの並びも気になるので THC でも良いものかと思う。

(委員 A)

英語表記にするか、カタカナ表記にするかは検討の余地があるかもしれない。最終的には両方使っていくこともあり得ると思う。THMC の略語については、常任理事会でも質問をもらったが、他大学で Humanities Center を作ったときの略語に都留の T をつけたものとなる。Humanities で HM というのがどれくらい一般的で、どれくらいアピールする力があるのか、もう少し確認してからの決定にしたほうがよいと考える。

(委員 B)

他大学は、3文字で HMC だと思うが、それは HC だと足りないので M を入れたと思った。

(委員 A)

今回、4つの柱として提出した資料は、ここまでのところで新棟を進めていきたい、展開していきたいプランを出したもので、これが全てでなく、これから追加していき、この4月から1年かけて行い、更にここで何ができるのかということを考えていくことになる。

(学長)

Humanities となると一つの名詞となり、ネイティブから見て誤解を招くような表現であると困るため、念のためご確認いただきたい。

→指摘事項を確認した上で提案どおり承認。

(9) 都留文科大学学部履修規程の一部を改正する規程(案)について

○委員から資料9に基づき説明。→指摘事項を修正した上で提案どおり承認。

(10) 令和5(2023)年度学外研究員候補者について

○委員から資料10-1~10-4に基づき説明。

→1名保留とし、その他は提案どおり承認。

(11) 令和4年度開講科目について (TISP)

○委員から資料11に基づき説明。→提案どおり承認。

(12) 令和5年度開講科目について (学校教育_専門科目・地域社会)

○委員から資料12に基づき説明。→提案どおり承認。

(13) 令和5年度非常勤講師担当科目について (継続_第8・9回)

○委員から資料13に基づき説明。→提案どおり承認。

(14) 令和5年度非常勤講師担当科目について (取消_第5回)

○委員から資料14に基づき説明。→提案どおり承認。

4 そ の 他

○委員から新棟の落成記念式典について報告。

○学長から辞任のご挨拶。

5 閉 会

以上